

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	用水路台帳等作成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	建設管理課		包含する細々目	1	6	1	7	20	1	4,000
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画条例等	飯田市公共物管理条例						
		事業期間	10	年度～		23	年度					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	農業用水路(井水)	市内の用水路総数 / 件	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			10	290		
	用水路総延長(調査済水路総延長+未調査予想水路総延長) / m	調査後GISへ搭載した用水路の件数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
			22000	302228		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
用水路台帳の整備(台帳調査、路線別台帳、写真台帳、横断面図、調査図面 1/10000台帳図 1/25000位置図 GIS(地理情報システム)へのセットアップ及びCD等電子媒体によるバックアップデータ	調査後GISへ搭載した用水路の総延長 / m	18目標	16	最終目標	290	23
		18実績	16	19目標	10	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
	調査後GISへ搭載した用水路の総延長 / m	18目標	28400	最終目標	284162	23
		18実績	35640	19目標	22000	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	用地測量委託・所有権移転登記事務 参考 細々目名:用地測量・所有権移転登記業務委託費 農道用水路台帳の作成及びGIS(地理情報システム)への搭載を実施し、用水路の維持管理、災害時の復旧に役立てる。 ・公共物占用許可事務に利用する ・平成18年度末までに用水路総数290件のうち210件の調査を終え進捗率72.41%、総水路延長(予想含む)302,228mのうち248,265mの調査を終え進捗率82.14%となっている。 ・合併した上村、南信濃地区には別に33件25,542mの用水路があり、国土調査の進捗によって追加調査することが必要となる。	一級河川土曾川、南大島川、松川、野底川、王竜寺川、源長川、円悟沢川から取水する16用水路を調査し、台帳の作成及びGIS搭載業務を行った。 一級河川から取水する用水路を中心に調査し、台帳の作成及びGIS搭載業務を行う。	件数 総延長	16 35,640
	18年度の実績			
	19年度計画		件数 総延長	10 22,000

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	4,952	4,000
事業費計(A)	4,952	4,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	4,952	4,000

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業) 億円	現状値	121	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>農業用水路に関しては、頭首工台帳により管理をしており、取水場所は把握していたものの径路に関してはおおよその状況がわかる地図しかなかった。水路の途中が水害にあっても原形復旧する場合の径路が不明であることから詳細の調査が必要となった。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>農地から宅地への転用が進み、住宅用地となるケースが増加したが、道路と宅地の間を流れる用水路上に蓋(橋)をかけて出入口とすることが一般化した。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>用水路(井水)に蓋をかけるためには、公共物管理条例に基づき公共物占用許可を受けなければならないが、許可の前提として井組合の長等の承諾を求めている。</p>
--	--	---

【See】18年度の振り返り

<p>目的妥当性評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>直接的に農業者の産出額を増加させることにはならないが、農業の根幹となる用水路(井水)の維持管理や災害復旧時の基礎となる。</p>	<p>有効性評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がない (その理由)</p> <p>使用頻度が高い地区から調査を行うことの優先順位はあるが、全体を調査しなければならない。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がある (その理由)</p> <p>用水路の全体把握が完了した場合には、ため池台帳の見直しも必要となる。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>・維持管理や災害復旧時に支障がある ・公共物占用料の公平な納付に支障がある</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>河川管理者として、慣行水利権、許可水利権を把握し、情報提供や公共物占用許可事務をとりおこなう上で必須のため。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>行政が行う事業である。</p>		<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>主として業者への委託料であるため</p>
			<p>公平性評価</p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>・水利権を保有する用水路(井水)関係者 用水路上を占用して通路として利用する市民</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>特になし</p>
--	---

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	